



石神井南中学校 学校だより

令和 元年度 第 7 号
発行日 11月29日(金)
練馬区立石神井南中学校
校長 田邊 克宣

「豊かな想像力を」

校長 田邊 克宣

秋の季節も瞬く間に去り、このところ1月の気温に、冷たい雨も重なる日が続いております。例年よりひと月ほど早いインフルエンザの流行も伝えられ、冬支度を急がなければと思う今日この頃です。何かと気忙しくなる年末を前に、石南中生たちは元気に学校生活を送っています。

25日(月)から始まったクリーン運動では、いつもより早い時間に登校した生徒たちが、ホウキを手に落ち葉掃きやゴミ拾いに精を出しています。校庭では、30日(土)に開催される練馬区中学校駅伝大会に向けて代表選手が朝練習に励んでいます。冬が寒いのは当たり前ですが、その寒さに負けずに溼漑と活動する姿は、子供たちの健全な成長の証でしょう。酷暑の中で始まった2学期も残すところあと一ヵ月となりましたが、この間に行った石南中生の取組は、いくつも大きな実を結びました。

今年度、生徒会の呼びかけで始まった「Cap50プロジェクト」では、目標の50kgを達成することができました。一方、3年前から取り組んでいる「届けよう服のチカラプロジェクト」には、1004枚、181.2kgの服が集まりました。集められた服は、コンゴ共和国の子供たちへと届けられます。いずれの活動にも、趣旨に賛同し、ご協力いただいた保護者の皆様に、感謝申し上げます。

また、9月からは、給食委員会の主導で、給食時のストローの使用に関する改善が行われました。一度配付されたストローは、廃棄処分となります。そこで、ストローは、使う人だけもらうということを全校で始めました。プラスチックストローが環境に及ぼす問題については、すでにご存じのとおりです。最近では、相模湾や房総沖で6000mの深海から、35年前のハンバーグの袋が見つかったとのニュースが報じられていました。自分が子供の頃、プラスチックは土には還らないということを何かにつけ聞いた覚えがありますが、35年もの年月を経て今なお自然に還ることなくどこかにある大量のプラスチックゴミを想像するにつけ、今、行動を起こすことの大切さを改めて強く考えます。たとえペットボトルのキャップ1個、ストロー一本であっても負の遺産としてはいけない。そのために、生徒たちが主体的に考え、実行に移していることは、これからのよりよい未来に必ずつながっていくこととして、大いに頼もしいことです。

たとえ微力なりとも自らの手でよりよい世界を創っていこうとする意志と行動。遠く離れたコンゴ共和国の子供たちに思いをさせ、あるいは来るべき未来の世界に思いを巡らせる力を、想像力と言います。

この想像力は、対人関係においても大きな力となります。自分の言動が、相手や周囲にどう影響するのか。言った言葉がどのように受け取られ、やったことがどのような結果をもたらすのかを、あらかじめ自分で思う力であり、人と人との関係を構築する上で、必要不可欠のものです。やがて社会に出たときに、他者との間に丁度よい人間関係を築いていくことができるようになるためには、中学校時代の今、よりたくさんの人と関わっていくことが大切です。

仲間とのかかわりの中で、傷ついてしまったり、傷つけてしまうこともあるでしょう。肝心なことは、そこから学ぶことです。いじめは絶対に許されることではありませんが、最も怖いのは、無関心であることです。よりよい人間関係を構築する力を育むために、他者と関わり、会話を繰り返す中で、相手の心を慮りながら自己主張していく術を会得して欲しいと思います。

保護者の皆様におかれましても、石南中生のすべての子供たちの日々の姿を、広く、温かく、厳しく見守っていただくようお願い申し上げます。

2年生鎌倉校外学習

2学年主任 安井 謙二

石神井南中学校2学年では次年度の修学旅行を見据えながら、鎌倉への班別校外学習を行いました。朝、石神井公園駅で班ごとにチェックを受け、事前に決めたルートに従って鎌倉の自社仏閣などを巡りました。途中湘南新宿ラインが事故のため30分ほど遅れてしまいましたが、どの班も無事に鎌倉駅に到着することができました。生徒の安全確認は、各班1台のスマートフォンを持ち、メール、見学場所の写真を送信させるなどして行いました。生徒も普段から使い慣れているようで教員以上に見事に使いこなしていました。また途中で学年の教員がそれぞれのルート先で生徒の様子を確認していきましました。生徒たちの様子は、仲間同士しっかりとコミュニケーションをとりながら協力し合い、周りをよく見た行動ができていると感じました。この1年間の成長した姿が多くみられ、非常に嬉しく、また、頼もしく感じました。今回学んだ団体での行動のほか、歴史的建造物を味わい様々な文化を理解する姿勢を大切に、修学旅行に活かしていけるよう今後も学習してほしいと思います。

